



困難は一時的、放棄は永遠

発行日：2023年12月21日
発行者：大澤和将

2024年 1月 講師予定表

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	年末	年始	休業	井上 倉林	和将 小澤 尾池	和将
7	8	9	10	11	12	13
定	井上 小澤 赤羽	定	尾池 山本 赤羽	倉林 柿沼	和将 小澤 村岡	井上
14	15	16	17	18	19	20
休	尾池 赤羽	休	井上 村岡 青木	倉林 山本	赤羽 小澤 村岡	和将
21	22	23	24	25	26	27
日	赤羽 青木	日	井上 山本 村岡	倉林 尾池	和将 尾池 村岡	和将
28	29	30	31			
	柿沼 赤羽		井上 尾池 山本			

※あくまで予定です。予告なく変更する場合があります。

～お知らせ～

・3学期開始

いよいよ年の瀬を迎え、新年を迎えればすぐに3学期が始まります。予習復習は進んでいますか？受験生でないからと言って勉強をおろそかにしてはいけませんよ。

・私立入試が始まります

受験生のみなさんは1月からついに入試が始まります。まずは私立高校の入試ですね。今までの努力を遺憾なく発揮してください。

・大学入試共通テスト

高校生にとっての大勝負である共通テストも1月にあります。中学生のみなさんにとっては遠い先の話に思えるかもしれませんが、今から意識しておいて損はありません。

～緊張との向き合い方～

受験生のみなさんはいよいよ1月から私立高校の入試が始まります。受験を目前にしてどのように感じているでしょうか？

「すごく緊張する」「不安で眠れない」「あつという間に1月になってしまった」「思ったより緊張していない気がする」人それぞれだと思います。緊張で自分の力を出せないというのが一番悔しいですね。力になれるかどうかはわかりませんが、私の考えを紹介します。

そもそも、緊張するというのは悪いことではありません。なぜ緊張するのか？それは今まで積み上げてきたものが通用しないかもしれないことへの不安からだと思っています。

逆に言えば、積み上げてきたものがあるからこそ緊張しているということ。緊張を感じているあなたは受験に挑む資格があるということ。あとは自分の力を信じて突き進むだけです。

もちろん、緊張していない人に資格がないわけではありませんよ。緊張していないということは、不安を感じる必要がないくらい、研鑽を重ねて自分を高めてきたということ。磨き上げた力を存分に発揮してください。

いよいよ、みなさんにとっての大勝負が始まります。悔いが残らないよう、全力で戦ってください！！！！

～今月の一言～

どうも、なかなかの頻度でお会いしている気がしますね。和将です。前巻Sだよりを担当したのが9月だったので4か月ぶりの執筆です。すっかり寒くなりましたね..みなさん体調にはくれぐれもお気をつけてください。

さて、私事ではありますが、先日2月20日は私の研究室の学会申し込み締め切り日であり、ギリギリまで粘りながらなんとか申し込むことができました。さらに17日には部活の大事な大会があったり、受験期を迎えてバイトのシフトも増えたりFreeSpaceでは過去問演習が始まって採点業務に追われたり..自分で言うのも何ですがかなり無理なスケジュールを組んでいたと思います。

もちろん忙しい自慢がしたいのではなく、いつかみなさんに話そうと思っていたことを取り上げるいいきっかけだと思ったからです。何の話かという、「無理」と「無茶」について。辞書的に言えば、

・「無理」は「実現するのが難しい」けど、不可能ではなく努力次第で実現可能なこと。

・「無茶」は「程度が甚だしく、度を越している」、現実的ではなく実現不可能なこと。

この2つの言葉の違いは可能か不可能かという点にあります。私も、決して無茶なスケジュールを組んでいたわけではありません。

じゃあ無理と無茶の間のラインをどうやって引けばいいんだという話になりますが、それは人それぞれ自分の「キャパシティ」によって変わってくると思います。「これ以上頑張ったら体を壊してしまう」というラインを超えないように頑張るのが本当の意味での「努力」というわけですね(あくまで私の持論ですが)。

実際はこのラインを見つけるのが一番大変なわけでありまして。私も過去に何度も頑張りが過ぎてしまったことがあるからこそ今の自分のキャパシティを把握できているだけなのです。両親には何度もフォローしてもらったと思います。逆に言えば、被保護の状態にある学生の間こそ、多少の無茶を押し通して「自分を知る」機会を作れるチャンスなわけです。大事な時に普段通りの頑張り方しかできない人間が成長できるはずありません。これは受験に限った話ではありませんよ。人間が成長するのはいつだって「全力で頑張ったとき」です。受験前の大事な時期ではありますが、敢えてみなさんには「頑張れるだけ頑張ってみてほしい」という言葉を贈ります。過去問演習、ぜんぜん出てきていませんよ。十分にこなせる量を課しています。

もちろん体調を崩してしまっては元も子もありません。体調管理に関しては、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。受験前の生徒に向けて「無理をしろ」と言うしかない、力不足を感じる講師ではございますが、何卒お力添えいただければと存じます。